


教材・支援機器活用実践事例

【計画的に学習することができるようにするための支援】

	実施年度	平成29年度	
授業について	教科名等	自立活動	
	単元・題材名	計画的に学習するために	
	授業における教師のねらい	○ スケジュールシートを使い、計画的な家庭学習を行うことができるようにする。	
	授業における子どもの目標	○ 実行しやすい家庭学習計画を立て計画的に学習することができる。	
子どもについて	学級・学校・学年	通級指導教室 中学校 3学年	
	対象の障がい	ADHDの疑い等	
	授業形態	小集団学習	
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	<p>○ 3年生になってようやく家庭学習を15分から30分程度できるようになってきた。学習内容がなかなか定着しない。また、話すのが苦手である。</p> <p>○ 普段は30分から1時間程度家庭学習を行っているが、集中できなかったり学習内容に偏りがあったりしている。自分のことばかり話したがる傾向がある。</p>	
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	○自作	<p>【画像】生徒A</p>  <p>生徒B</p> 
	活用のねらい	<p>○ 今週の目標、実施する学習、順番を記入し、実施したかどうか色分けしたシール（できた・青シール、半分できた・黄色シール、できなかった・赤シール）をはり、見通しを持って学習でき、視覚的に振り返りをしやすくしたスケジュールシートにした。また、今後、学級で作成する夏休みの生活計画表を利用し、夏休みの具体的な計画も立てる予定である。さらに、話し合う活動を行うことで、コミュニケーションの学習もできる。この学習を生かして、夏休み後も計画的な学習が継続できるようにしたい。</p>	
授業における支援・教材の配慮事項		○ 毎週、スケジュールを記入させ、実施状況を確認している。夏休み中も意識できるように働きかけている。	
子どもの変容や評価		○ 生徒Aは、今までなかなか家庭学習ができなかったが、以前よりできるようになってきた。生徒Bは、計画した学習は必ずやっている。評価のシールを全部青にしないで、丸付けをして間違いが多い時は黄色シールにして自分なりに工夫している。	